

令和元年度 NBC 冠講座「起業と事業創造」(2年生) 開講報告

文京学院大学 2020.2.17

本学では社団法人東京ニュービジネス協議会(NBC)との包括提携に基づく共同事業推進の一環として、科目の共同運営を行っています。今年度は、2年生対象の「起業と事業創造」を後期月曜日の3限に開講し、社会で活躍する本学卒業生、NBC等に所属する新興企業の経営者を特別講師としてお招きし、起業に関する特別講義を行っていただきました。

I. 概要および講義の様子

①	9月23日	オリエンテーション、
②	9月30日	★履修意識調査(受講前)によるアンケート実施 講義:「起業家の基本特性」「起業活動の現状」
③	10月7日	講義:「起業活動と有望市場」
④	10月14日	☆課題レポートの書き方について 講義:「起業の領域(ニューサービス産業とニッチ市場)」
⑤	10月21日	◎アートグリーン株式会社 代表取締役 田中 豊 氏 講義テーマ『起業と事業創造の醍醐味』 受講生:45名
⑥	10月28日	講義:「お金の観点から見た事業展開」「株式公開(IPO)」
⑦	11月4日	講義:「利益思考と利益志向」①
⑧	11月11日	◎株式会社セブンイレブン・ジャパン 東北ゾーン総務マネジャー 川瀬 由紀子 氏(本学経営学部8期生) 講義テーマ『フランチャイズビジネスとしてのコンビニエンスストア』 受講生:45名
⑨	11月18日	講義:「利益思考と利益志向」②
⑩	11月25日	講義:「資金調達と株式公開(IPO)」、「ベンチャー企業の成長と組織づくり」①
⑪	12月2日	◎株式会社ベアーズ 取締役副社長 高橋 ゆき 氏 講義テーマ『業界そのものを新規創造する』 受講生:45名
⑫	12月9日	講義:「株式公開(IPO)」、「ベンチャー企業の成長と組織づくり」②
⑬	12月16日	◎株式会社OKAN 代表取締役 沢木 恵太 氏 講義テーマ『サービス開発・事業拡大と資金調達』 受講生:42名
⑭	12月23日	★履修意識調査(受講後)によるアンケート実施、特別講義感想アンケート実施 講義:「起業と事業創造の世界観」「ビジネスプランの作成演習」「ビジネスモデルの論理」
⑮	1月20日	テスト

10月21日 アートグリーン株式会社 代表取締役 田中 豊 氏

講義テーマ『起業と事業創造の醍醐味』

アートグリーン株式会社は、法人向け贈答用胡蝶蘭の生産及び卸売事業をメインに、異業種からフラワービジネスへ参入する際の支援をする総合園芸コンサルタントなどを行っている会社です。学生時代から「25歳になったら起業しよう」と決めていた田中氏は、大学卒業後にリゾート開発会社に就職、多くの上場企業の役員との会話から、園芸を趣味としている人が多いことに気づき、起業に向けてのビジネスモデル構想をふくらませ、1991年にアートグリーン株式会社を創業されました。田中社長は東京NBC副会長でもあり、本学講義には10年以上前から数回にわたりご登壇いただいていたこと、創業時、上場準備期にも様々なお話をさせていただきました。2015年にはセントレックス上場を果たし、現在は、ビジネスモデルコンペの審査員など、若手起業家を支援する活動もされています。



起業について、資金的なリスクがあると考える学生に対して、今は起業を支援するエンジェル投資家も多く、事業にじっくり取り組むことができる時代であるとお話いただきました。何より、起業資金は、どう使うのかということがとても大切であり、「大切に使うお金は、大切に帰ってくるもの」、どんなに窮しても、自分があきらめずに続けることが成功の秘訣だと学生にエールを送っていただきました。

11月11日 株式会社セブンイレブン・ジャパン 総合渉外部 東北ゾーンマネジャー 川瀬 由紀子 氏

講義テーマ『フランチャイズビジネスとしてのコンビニエンスストア』

川瀬さんは、本学経営学部第8期の卒業生で、在学中は櫻澤ゼミに所属し、学園祭実行委員長も務められました。卒業後は、2002年4月にセブンイレブン・ジャパンに入社され、2005年～2012年は埼玉地区でOFC(経営指導スタッフ)、2012年～2014年は東京・名古屋でトレーニング部トレーナー、2014年～2015年は名古屋・横浜にてリーダーOFC、2015年には仙台東地区ディストリクトマネージャーに就任されています。現在は、東北地方担当のCSR(行政との包括提携業務推進等)責任者として、災害発生時における社会インフラとしての機能を果たすため、東北各地の店舗と行政との連携の窓口として活躍されています。

当日は、川瀬さん自身が今現在携わってお仕事の中から、行政と取り組んでいる青森県の移動販売サービス、喜多方ラーメンの有名店監修による加盟店との地域商品開発、そして先日の台風19号の災害対応など、昨今のコンビニエンスストアの地域に根差した活動についてお話いただきました。

また、セブンイレブンのフランチャイズビジネスについてもご説明いただきました。「セブンイレブンのフランチャイズって誰しも加盟できるように、加盟店が販売に専念できるような仕組み作りをしっかりと行っていますが、当然リスクもあります。独立の責任を持つ事業の経営者であることは変わらない。」として、「加盟店は『商いの心』を大切にお客様のほうを向いて堅実にビジネスに取り組むこと、絶えず変化する顧客のニーズに合わせて商品、サービスを提供したうえで、きちんと利益を上げていくことが他のビジネスと同様に大切です。天気や地域のイベントにアンテナを伸ばし、人物金や経費をきちんとコントロールして、一生懸命頑張っている加盟店が幸せになれるよう我々も日々努力しています。」とフランチャイズビジネスでの起業について語っていただきました。



12月2日 株式会社ベアーズ 取締役副社長 高橋 ゆき 氏

講義テーマ『業界そのものを新規創造する』

株式会社ベアーズは、高橋副社長ご自身が香港の企業で働きながら利用したメイドサービスによって家事や育児を快適にこなした経験から、家の中のことを安心して任せられる家事のパートナーの必要性を強く感じ、1999年に日本初の家事代行サービス業として設立されました。「女性の“愛する心”を応援します」を基本コンセプトとし、家事代行サービス、ハウスクリーニング、ベビー&キッズシッター、高齢者支援というサービスの他に、ホテル清掃、マンションコンシェルジュ、法人向けのオフィス・ビル清掃サービス等も手がけています。最近では、NHK「あさイチ」のメインゲストとしてお話しされるなど、家事評論家としてもメディアに登場している方です。

本学の講義にはこれまでも数回ご登壇いただき、創業当初のお話などしていただきましたが、今回は家事代行サービス産業の確立をテーマに、新しい時代の新しい暮らし方の提案、新しい雇用の創造についてもお話いただきました。創業当初は、ニーズはありながらもまだ富裕層のサービスであったものが、女性の社会進出、男女雇用均等法などをきっかけに追い風が吹き、ドラマの家事代行サービスの監修など、最近では若い世代にも家事代行業が認知されるなか、「働き方改革は暮らし方改革から!」「日本の暮らしの新しいインフラになろう!」という高橋副社長の熱いメッセージは、起業を学ぶ学生たちに強く響いたようでした。



12月16日 株式会社OKAN 代表取締役 沢木 恵太 氏

講義テーマ『サービス開発・事業拡大と資金調達』

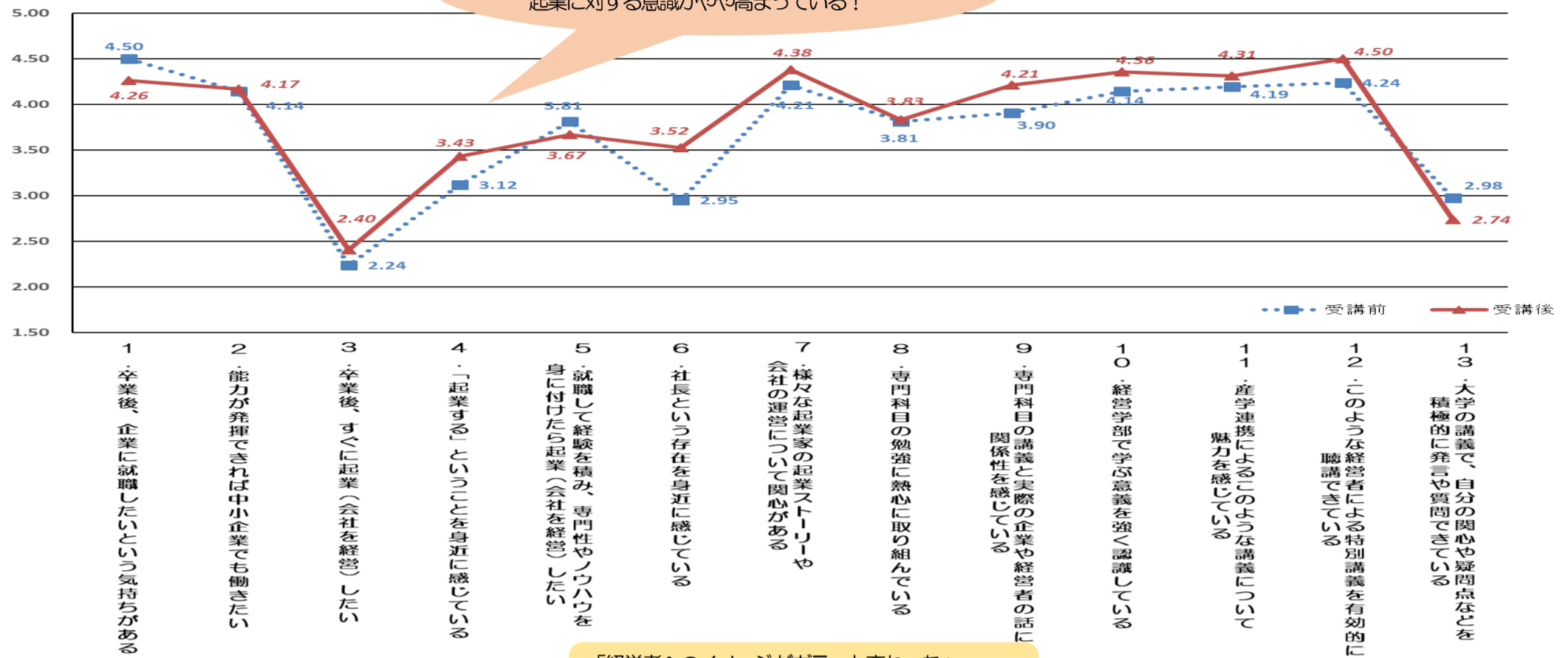
沢木社長は、2012年12月、株式会社CHISANを設立。地域にある素晴らしい商品や技術を世界に発信したいという願いから、「地産地消」を基に「CHISAN」という社名をつけました。2013年3月には、お惣菜の定期仕送りサービス「おかん」を開始し、2014年2月に、社名を株式会社おかんに変更。同年3月には、法人向けお惣菜サービス「オフィスおかん」を開始。オフィスに小型冷蔵庫を設置し、その中のお惣菜を好きなときに買って食事ができる簡易社食のようなサービスは、置き薬方式のふち社食サービスとして話題になっています。2014年のサイバーエージェント・ベンチャーズならびにオイシックスをはじめとする大手企業からの資金調達により、大幅な事業拡大を図っている企業です。現在では、社名を株式会社OKANに変更し、「働くヒトのライフスタイルを豊かにする」をミッションに自身の健康状態、家庭との両立、同僚との関係、職場環境など離職の8割の理由となっているハイジーンファクターに特化した調査・分析サービス「ハイジ」を展開しています。

2015年にメディアに取り上げられ始めたころは10名程度だった社員も今では100名を超えています。沢木社長自身は大学3年生ごろまで卒業後の進路についてはあまり考えておらず、親戚や身近な人にも経営者はいなかったため起業を考えたことはなかったそうです。就職してハードワークをこなしながら体調を崩してしまったという原体験から、「働くヒトのライフスタイルを豊かにする」という社会を応援するビジネスを始めた沢木社長。「こういう形のビジネスがあることを初めて知った」という学生も多く、刺激の多い講義となったようでした。

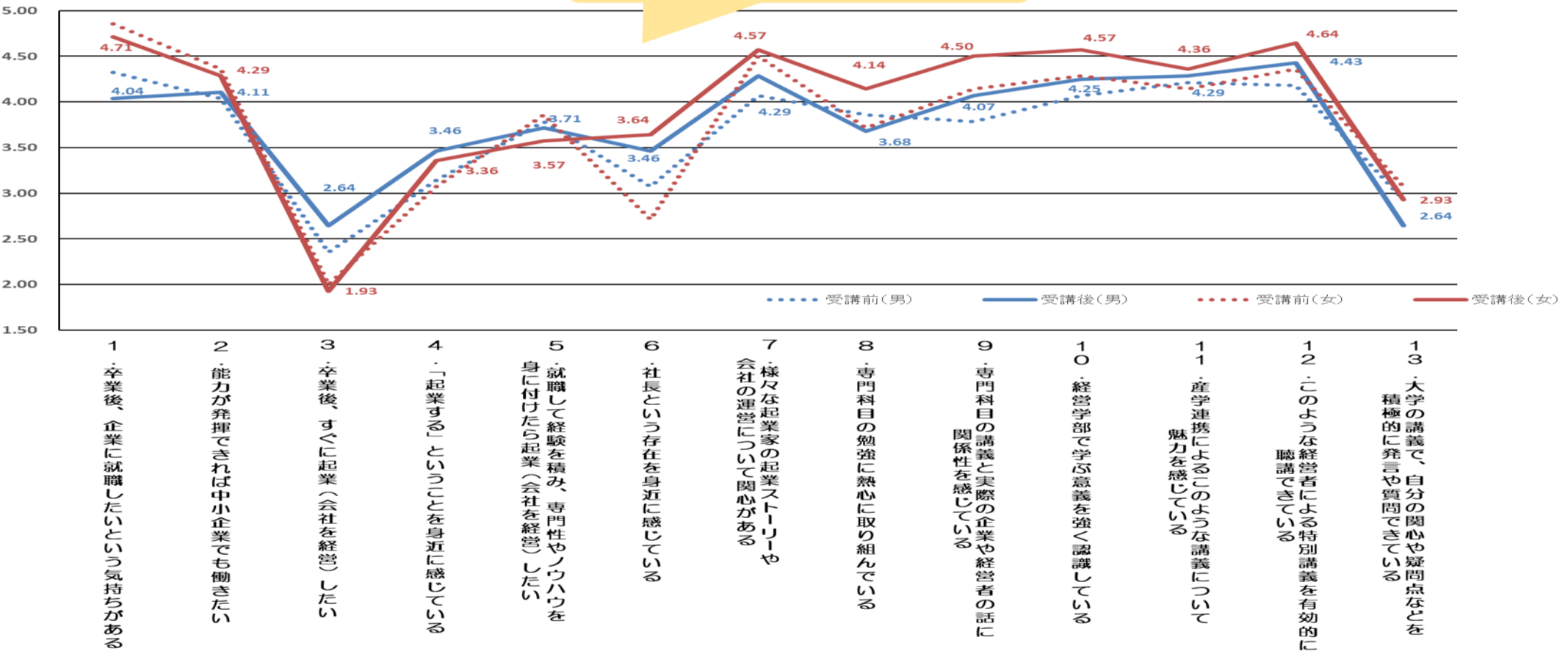
II. 履修者の起業意識、学習意欲の推移

下記のグラフは、本講座の受講前・受講後の2回にわたって行われた全てのアンケートに回答した42名の履修学生の起業意識、学習意欲の平均値の推移をグラフ化したものです。
※すべての質問に対して「5.そう思う」「4.ややそう思う」「3.どちらともいえない」「2.あまりそう思わない」「1.そう思わない」の5点尺度で回答したものを集計してあります。

(1) 全体の平均値の推移ー (有効回答: 42名)



(2) 男女別の平均値の推移ー (有効回答: 男28名、女14名)



(3) 特徴ごとに見る起業意欲の差異ー (有効回答 全体: 42名、起業を意識している学生: 5名、保護者等に起業家や経営者がいる学生: 19名)

